和歌山県立医科大学附属病院広報誌

まんだらげ

vol. 9
2009.6

患者さまの権利

1 個人として尊重され、質の高い医療を受ける権利
個人の人格が尊重され、年齢、性別、信条、障害の有無などにかかわらず、必要かつ十分な医療を平等に受ける権利があります。

2 医療について十分な説明を受ける権利
ご自身が受ける処置・手術や検査等について、十分な説明を受ける権利があります。また、他の医療機関の医師の意見（セカンド・オピニオン）を求める権利があります

3 自分が受ける医療を自ら決定する権利
納得できるまで説明を受けたのち、ご自身が受ける医療について意見を表明し、自らの意思に基づいて決定する権利があります。

4 医療について情報提供を受ける権利
自分の病気や受けている医療について知ることができるとともに、カルテ等の開示を求める権利があります。

5 個人情報やプライバシーが守られる権利
医療に関する個人情報やプライバシーは厳正に保護される権利があります

CONTENTS

- 診療科紹介／【皮膚科】【神経精神科】
- 病棟だより／８階西病棟
- くろーずあっぷ／膠原病・リウマチ診察開始
  医学部三葛教育棟、完成
- お役立ちメモ／障害年金
- 栄養ワンポイントアドバイス／ラタトュイユ
- お薬の豆知識／新型インフルエンザ

広報誌「まんだらげ」の名称について

和歌山を代表する江戸時代の外科医・華岡青洲が全身麻酔薬として用いた植物「曼陀羅華（まんだらげ）」から引用しています。花に「医」の文字をデザインしたものは、本学の校章にも採用されています。

理念

私達は患者さま本位で、質の高い医療を提供し、地域の保健医療の向上に貢献します。

基本方針

1 患者さまとの信頼関係を大切にし、安全で心のこもった医療を行います。

2 高度で先進的な医療の研究をすすめ、その成果を反映した医療を行います。

3 豊かな人間性と優れた専門技術を持った医療人を育成します。

4 地域の中核病院として、和歌山の保健医療を推進します。

診療科紹介

【皮膚科】

全身性皮膚疾患からケミカルピーリングまでより安全性の高い治療をめざす

皮膚科は頭の先（髪の毛）から足の先（爪）まで体表面の全てが領域です。アトピー性皮膚炎、膠原病（こうげんびょう）、尋常（じんじょう）性乾癬（せいかんせん）などの全身性皮膚疾患をはじめ、皮膚腫瘍（ひふしゅよう）、母斑（あざ）など、外科的手術を必要とする皮膚疾患を中心に治療を行っています。また、美容皮膚科として、ケミカルピーリングとレーザー治療（一部自費診療・予約紹介状必要）にも取り組んでいます。

皮膚免疫・アレルギー、皮膚外科、創傷治癒（そうしょうちゆ）、美容外科を研究・臨床テーマとし、古川教授のもと、臨床教授2名、准教授1名、講師1名、臨床講師1名、助教6名、学内助教2名、大学院生7名らが、日々研究に励んでいます。

【神経精神科】

患者さんの笑顔のために、最新の診断技法と治療法を実践

私たちはうつ病、統合失調症、神経症性障害、認知症、てんかん、小児精神疾患などの精神科領域の疾患全般の診察を行っています。他診療科、保健所、子ども・女性・障害者相談センター等とも連携し、心理的・身体的・社会的に関わることを心がけています。患者さんの悩みや心の痛みを理解し、共に歩み、こころの健康を目指します。

精神医学でも「どの治療法がどの程度有効か」の情報が世界規模で共有され、治療方針も年単位で進歩しています。私たちはそうした最新の診断技法と治療法をもとに、最新で最高の医療に尽力しています。

そのために最新の検査・治療器機としては光トポグラフィーや反復的経頭蓋磁気刺激装置（けいとうがいじききしげきそうち）をそろえています。これらを利用し、うつ病・統合失調症の最適な治療を目指しています。

病棟だより

患者さんの自立に向けて優しく厳しくサポート

8階西病棟は、整形外科を中心にリハビリ科など全50床を有する病棟です。ワーク・ライフ・バランス（仕事と私生活の共存）を推進しスタッフが働きやすい環境の中、安全で心のこもった看護に励んでいます。患者さんが笑顔で退院されることを願って、時には優しく、時には厳しく、自立に向けてサポートしています。「患者さんの立場に立つ」「ていねいな看護」が合い言葉です。ボランティアさんも患者さんの心を癒す花など季節を伝える展示も行っています。

くろーずあっぷ

「膠原病・リウマチ」診察を開始

5月12日から毎週火曜日、腎臓内科・血液浄化センターで膠原病・リウマチを診察することになりました。なお、呼吸器、アレルギー内科、整形外科、皮膚科におきましても引き続き診察しています。

■外来診察場所及び曜日

診察場所 ＼ 曜日	火曜日	水曜日	金曜日
腎臓内科・血液浄化センター（3階）	美馬医師	＼	＼
呼吸器・アレルギー内科（3階）	＼	＼	前島医師
整形外科（2階）	＼	＼	南医師
皮膚科（3階）	＼	古川医師	池田医師

医学部三葛教育棟、完成

和歌山県立医科大学では、医学部の入学定員65名から95名増員に対応するために、三葛キャンパス内（和歌山市三葛）に、新校舎を建設しました。2月末に完成した医学部三葛教育棟は、延床面積304,144平方m、3階建て。物理、生物、化学ほか、教養学科の一元化をめざしています。

お役立ちメモ

障害年金

病気やけがで初めて医師の診療を受けたときから、1年6ヶ月経過した日もしくはその間に医師が「症状固定」と判断した日（障害認定日）に、障害の状態にある方が受給要件を満たしている場合、年金を受け取ることができます。

初診日に加入していた年金により、要件や手続きの窓口が異なります。

		障害基礎年金	障害厚生年金	障害共済年金
受給要件	初診日	65歳未満にあること※	厚生年金の加入者であること	共済年金の加入者であること
受給要件	障害状態	障害認定日に法令に定められた障害等級表の1・2級に該当すること	障害認定日に法令に定められた障害等級表1～3級に該当すること	
受給要件	保険料	初診日に納付要件を満たしていること		
手続きの窓口問い合わせ先		市町村役場の国民年金課	社会保険事務所	共済組合

※65才未満で老齢年金を繰り上げ受給している方は、手続き窓口にお問い合わせください。

障害等級の例		
障害等級の例	1級	●両上肢の機能に著しい障害を有する方 ●両下肢の機能に著しい障害を有する方 ●両眼の矯正視力の和が0.04以下の方 ●その他
障害等級の例	2級	●1上肢の機能に著しい障害を有する方 ●1下肢の機能に著しい障害を有する方 ●両眼の矯正視力の和が0.05以上0.08以下の方 ●その他
障害等級の例	3級	●両眼の矯正視力が0.1以下の方 ●その他

障害年金受給の希望のある方は…まずは手続きの窓口にお問い合わせください。

問い合わせをして要件を満たしている場合、申請に必要な書類を窓口でもらいましょう。医師の意見書と申請書類に基づき審査があり、等級が決定されます。

障害認定日に障害等級に該当しなかった方でも、65才になるまでに障害等級に該当する障害になったときは、対象となります。

支給される金額（H21年度）

障害基礎年金における年額

1級：990,100円（月額82,508円）

2級：792,100円（月額66,008円）

・厚生年金、共済年金に加入されている方で3級に該当する場合は年金が支給されます。

・所得制限はありません（ただし初診日が20才未満の場合は所得制限あり）

支給金額が変更される場合

・初診日が20才前にある方は受給者本人の所得制限により、支給金額が減額される場合があります。

・医師の診断書の提出により障害等級が変更されると、年金額の改定や支給停止となることがあります。

栄養ワンポイントアドバイス【病態栄養治療部】

夏野菜たっぷり「ラタトゥイユ」

最近、ズッキーニやパプリカなど夏の西洋野菜を見かけるようになりました。今回は、これらを使ったフランス料理「ラタトゥイユ」を紹介します。この料理は、野菜を炒めてトマトで煮込み、温かくても冷ました状態でもおいしくいただける前菜です。野菜をたっぷり使った料理ですので野菜不足を解消するために食卓へ取り入れてみてはいかがでしょう。

○材料 1人分＝ズッキーニ(20g)、パプリカ(黄)・なす、たまねぎ(各10g)、にんにく(少々)、トマト水煮缶(40g)、オリーブ油(1.5g)、コンソメ(1g)、塩・こしょう(少々)

○作り方 野菜は角切り、にんにくは粗みじんにし、オリーブ油とにんにくをいれ中火にかけ、野菜を炒める。火が通れば、コンソメとトマトの水煮を入れて煮込み、塩・こしょうで味を整える。

エネルギー	35kcal
たんぱく質	1.1g
脂質	1.6g
炭水化物	5.0g
塩分	0.9g

お薬の豆知識

シリーズ⑨「新型インフルエンザ」

～薬剤部から～

新型インフルエンザの主な治療薬は抗インフルエンザウイルス薬のタミフルとリレンザです。タミフルはA型またはB型のインフルエンザウイルスの増殖を抑える効果がある飲み薬です。発症2日(48時間)以内の投与(10代原則使用禁止)によってインフルエンザの症状を抑制します。

リレンザはA型またはB型のインフルエンザウイルスに作用して、感染した気道粘膜上皮からウイルスの増殖を抑える吸入薬です。いずれも医師の指示に従って服用し、小児・未成年者に対しては異常行動等に十分注意が必要です。

情報は国や地方自治体から発生状況が随時公開されているので、それらの情報の収集とマスクの着用や手洗い、うがいなど徹底して予防することが大事です。

附属病院への寄附について

和歌山県立医科大学附属病院では、みなさまから寄附金を受け入れています。寄附金は附属病院の医療技術向上のため、特に若手医師・看護師、医療技師等における研究や研修支援、先進医療機器整備など病院機能の向上に活用させていただきます。

http://www.wakayama-med.ac.jp/hospital/html/kihu/index.html

また、税制上の優遇措置も受けられます。所定の寄附申込書がありますので、詳細はお問い合わせ下さい
問：TEL 073 - 447- 2300(代)
和歌山県立医科大学事務局　企画課

お知らせ

平成21年度　生涯研修・地域医療支援センター研修会
「最新の医療カンファランス」

テーマ：高齢社会を生き抜くための生活の工夫

場所：和歌山県立医科大学　図書館棟3階
（生涯研修・地域医療支援センター研修室）

日時：第2木曜(4月、8月を除く)午後3時～午後5時

■7月9日(木)
第3回「よい睡眠を得るために」
講師：医大・神経精神医学教室　鵜飼聡(うかいさとし)
講師：医大・保健看護学部　水主千鶴子(すいしゅちづこ)

■9月10日(木)
第4回「長寿社会の血圧管理
―血圧測定から食事まで―」
講師：医大・教育研究開発センター　羽野卓三(はのたくぞう)
講師：医大・病態栄養治療部　川村雅夫(かわむらまさお)

※いずれも定員各100名、参加無料。
問：TEL 073-441-0789　和歌山県立医科大学
生涯研修・地域医療支援センター

和歌山県立医科大学附属病院広報誌　まんだらげ〈vol.9〉

2009年6月発行
発行／和歌山県立医科大学附属病院
〒641-8510 和歌山市紀三井寺811-1

TEL 073-447-2300
【ホームページアドレス】
http://www.wakayama-med.ac.jp/hospital
※診療スケジュールは、ホームページからご覧いただけます。

外来受付時間
・受付時間 午前8時50分～午前11時30分
・再診で予約のある方は指定時間(予約票の記載時間)
・休診日/土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)

電話予約センター
受付時間　月～金　午前8：30～午後4：00
【祝日・年末年始(12月29日～1月3日)を除く】
TEL 073-441-0489

電話をしていただく時間帯により、回線が大変こみ合うことがあり、ご迷惑をおかけするかもしれませんが、ご了承ください。

次号発行は9月です。